

キャラクターのカスタマイズが可能なAI案内サービス「おしゃべり案内板」を開発 ～3DCGのSayaとコラボレーション！多言語での案内によるインバウンド支援にも対応～

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、タッチと音声に対応したインタラクティブな多言語AI案内サービス「おしゃべり案内板」を開発しました。

「おしゃべり案内板」は、3DCG／実写キャラとの対話を通して、案内・受付を行います。ドコモのAIエージェント基盤^{※1}を利用しており、キャラ・背景・対話シナリオ（案内する内容やキャラの話し方など）のカスタマイズができるため、企業や自治体のキャラクターや設置場所のイメージに合わせたコンテンツに変更し、オリジナルのPR、空間演出が可能です。また、キャラと対話の連動により「話しかけてみたい」、「話してみたい」と思える「ひと」と「AI」との心地よいインターフェースを実現しました。さらに、心の声の表示により、会話の“きっかけ”をつくることで、「何をしゃべっていいかわからない」を解消するだけでなく、温かみのあるコミュニケーションを可能としています。

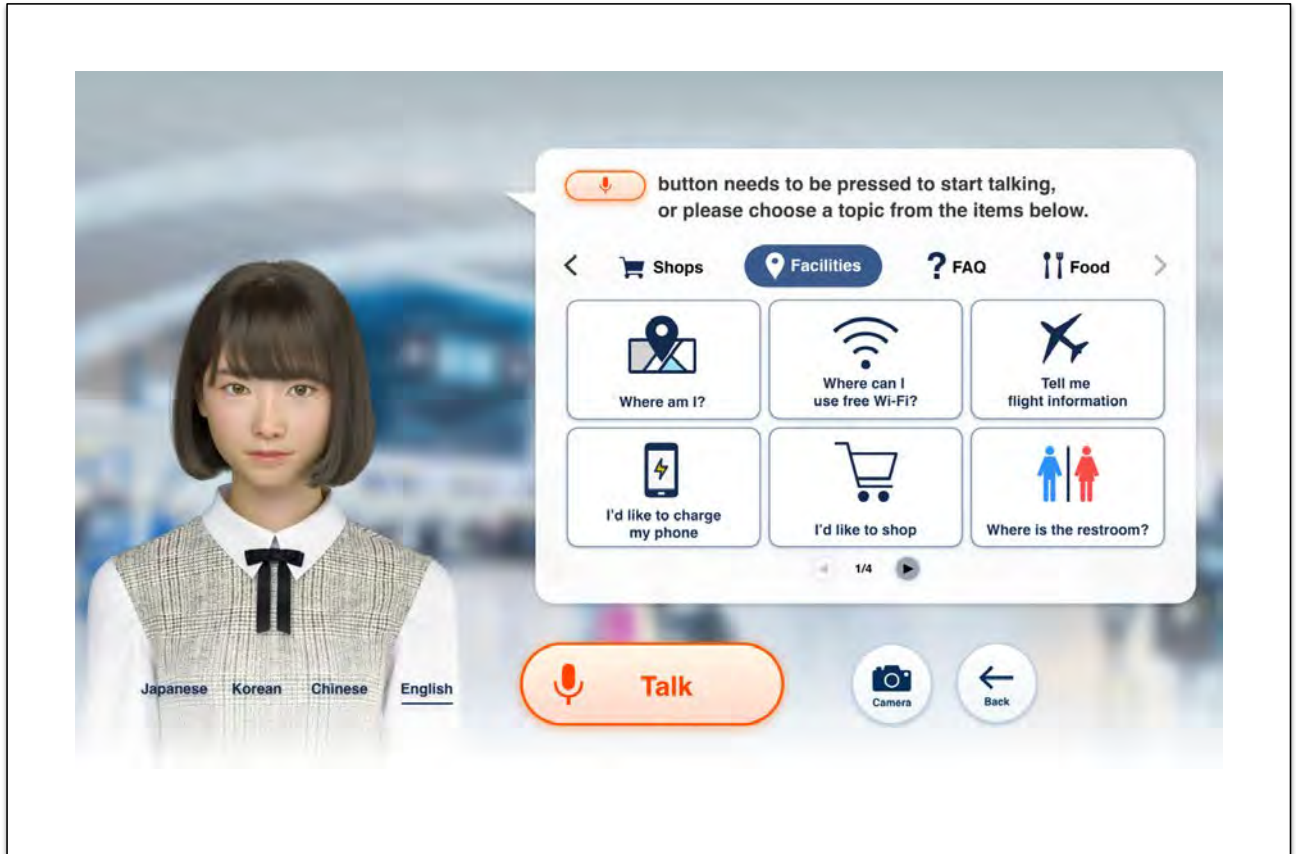
10インチから65インチのタブレット上で動作し、回線工事やサーバ準備を行うことなく、空港・駅・大型商業施設・観光地などでのご案内や、企業・ショールームなどの受付として利用でき、スタッフの稼働削減、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）での案内によるインバウンド（訪日観光客）対応を支援します。

また、Sayaプロジェクト^{※2}とのコラボレーションにより、設置いただいた企業や自治体はSayaによる案内を活用することが可能です。

2018年11月上旬より順次、「おしゃべり案内板」を成田国際空港内ドコモ ワールドカウンター成田第2^{※3}、高尾山、沖縄のバスターミナル、ショールームなどへ設置し、2019年3月31日（日）まで多言語AI案内サービスに関する実証実験を行い、スタッフの稼働削減、インバウンド対応、空間演出の観点からの評価、お客さまのご意見などのフィードバックを受け、2019年度中の商用化をめざしてまいります。

実証実験の開始に先立って、2018年10月17日（水）～19日（金）に開催される「日経xTECH EXPO（クロステック・エキスポ）」に出展いたします。

「おしゃべり案内板」は、法人のお客さまからの多言語による施設案内のご要望を受け、開発いたしました。ドコモでは、中期戦略2020「beyond宣言」の中で、「トップガンTM※4」を促進し、お客さまの課題解決に取り組んでおります。ドコモは、スタッフの稼働削減、インバウンド対応の課題解決に取り組むことで、より一層の働き方の効率化を提供し、社会的使命を果たします。



おしゃべり案内板 画面イメージ

<デモ動画> <https://youtu.be/dVrIJJAXhC8>

※1 AIエージェント基盤はNTTグループのAI「corevo®」の技術から構成されています。

※2 Saylaは最先端のコンピューターグラフィックスを表現媒体とし、夫婦で活動するTELYUKAの手から誕生したオリジナルバーチャルヒューマン。2015年に発表し瞬間に世界中で話題になる。ハンドメイドで生まれた彼女は、独特の有機感を持ち、人間とは違う新しい存在(GUIDE)としての役割を探求、進化と成長を見せていくプロジェクトを進行中。

※3 「ドコモ ワールドカウンター」の場所や営業時間などについては下記URLをご参照ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/support/domestic/>

※4 「トップガン」とは、お客さまの潜在ニーズを発掘し、迅速・効果的なソリューション創出を目的とした、お客さまと法人部門・研究開発部門（R&D）の三位一体型の小規模精鋭チームです。

*「corevo」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。(<http://www.ntt.co.jp/corevo/>)



*「トップガン」は、株式会社NTTドコモの商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ
 移動機開発部 第三アプリ開発担当
 TEL:03-5156-3783

「おしゃべり案内板」概要

1. 概要

タッチと音声に対応したインタラクティブな多言語AI案内サービスで3DCG／実写キャラによる「話しかけてみたい」、また「話してみたい」と思える「ひと」と「AI」の心地よいインターフェースを実現しました。空港、駅、大型商業施設・観光地での案内、受付スタッフの稼働削減、多言語での案内によるインバウンド対応の強化を支援します。

2. 利用イメージ

<音声による操作>



<タッチによる操作>



< Sayaと一緒に写真を撮る >

